インテリジェント・ラベル

次世代店舗・E コマース サプライチェーンの高度化

業務効率の向上

働き方改革 AI&データ活用

センサーで棚前の消費者行動を検知・可視化 購買前行動を把握し、売り場を最適化

小売店舗の売り場に設置した各種センサーで、棚前の通行人数、 立ち寄り数、滞在時間を始め、立ち寄り者の性別、年代、視線位置 などのデータを取得します。

これらのデータと気象などの外部データを組み合わせて活用する ことで、「購買された結果=POSIだけでは見えなかった消費者の 「購買前の行動・状態」を把握し、最適な商品陳列・売り場づくりの 検証が可能となります。また、売り場に立ち寄った顧客の属性に 合わせて、ディスプレイの表示コンテンツを自動的に切り替える 仕組みも構築できます。さらに遠隔からのコンテンツ管理機能も 搭載することで最新の情報をいち早く複数店舗で展開することも 可能です。

導入メリット

- 顧客/ユーザーの行動データを各種センサーで取得。 「購買前の行動・状態」の見える化を実現
- 顧客属性/顧客行動をトリガーとした 売り場の表示コンテンツの最適化が可能
- 4G 無線回線を介した、表示コンテンツの遠隔管理で データの一元管理が可能





活用

課題・ニーズ

小売店舗内での顧客の行動を、客観的なデータを基に分析 したい。デジタルサイネージを導入し、販促費の削減をし たい。顧客の属性の基づいた最適なコンテンツ表示を実施 し最適化を図りたい。複数店舗での販促コンテンツを一元 管理したい。

導入後の効果

定量データに基づいて、A/Bテスト等さまざまな販促手法 の検証が可能となり、店舗ごとの最適な棚配置や販促コン テンツの活用ができるようになります。売り場に立ち寄る 顧客の属性に合わせた販促コンテンツの切り替えを自動的 に行えるようになり、売上アップが実現します。

お問い合わせ先

SBクリエイティブ株式会社 事業企画部

SB Creative

□ e-mail rtone@cr.softbank.co.jp

